


所蔵番号 007		収蔵年月日 2022年12月1日	
資料名 沖縄救癩史			
著者・編集者		財団法人沖縄らい予防協会	
発行者・発行所		財団法人沖縄らい予防協会	発行年 1964年
解説  「癩（らい）」は癩菌（らい菌）による感染症で、今日では「ハンセン病」という呼び名が一般的である。日本最古とされる飛鳥時代のハンセン病患者療養施設の紹介から始まり、ハンセン病患者の状況や療養施設の変遷が記述されている。沖縄については、廃藩置県以降の様子がわかる。また、県内で療養所が設置された経緯や関係者の回顧録を通して、ハンセン病患者に関する記録だけでなく、第二次世界大戦前から日本復帰前までの世相も知ることができる。			
		資料の閲覧	
		Web 非公開	
		館内 非公開	
		備考 機微情報が多くマスキングが困難なため非公開（研究目的の閲覧など、図書館長の許可があった場合は原本の閲覧可）	

○次ページより目次をご覧ください。

## 沖縄救癩史目次

序文	上原信雄		好善社の事業に活躍した宣教師たち	16
第1編	徳田祐弼		藤原鉤次郎氏	17
前がき		1	9. 熊本回春病院	18
1. 古代の癩		1	ミス・エダ・ハンナ・リデル	18
日本最古の癩病院		1	本妙寺	18
光明皇后の御事蹟		1	回春病院設立	19
平安朝の癩院不壊化身院		2	癩研究所創設	19
2. 鎌倉時代の癩		2	性分離論	19
明恵上人行状記		2	病者伝道	20
忍性律師の業績		3	皇室の御仁慈	20
北山十八間戸		3	ミス・リデル永眠	21
桑谷療養所		4	二代院長ミス・エダ・ハンナ・ライト	21
癩の伝染説		4	10. 琵琶崎待労病院	22
仏教の癩罪業説		4	ジョン・マリー・コール神父	22
聖書の罪業説		5	五人のシスター	23
西山光明院		5	マリヤの宣教師フランシスコ会	23
3. 耶蘇教の伝来と救癩事業		5	本妙寺癩部落	24
フランシスコ・ザビエル		6	待労病院の日常生活	24
大友宗麟とルイ・アルメーダ		6	現在の待労病院	25
4. 織田信長と救癩事業		7	育兒院	25
5. 徳川時代と救癩事業		8	養老院	26
切支丹迫害と救癩事業の末路		9	11. 東京養育院	26
天刑か栄光か		9	光田健輔先生	26
6. 明治初期の癩		10	回春病室	27
起癩病院		10	12. 身延深敬園	28
岡村平兵衛翁と大風子油		11	創立者綱脇龍妙師	28
7. 神山復生病院		11	救癩の動機	29
初代テストヴィッド神父		11	不軽品実践	30
二代院長ヴィグラー神父		12	皇室の御仁慈	31
三代院長ベルトラン神父		13	13. 聖バルナバ病院	31
四代アンドリウ神父, 五代レゼー神父		13	コンウォール・リー女史	31
六代岩下壮一神父		13	草津湯の沢部落	32
8. 私立病院慰癩園		14	ミス・コンウォールリーの来草	32
ミス・ヤングマン		14	服部けさ女医	33
慰癩園創設		14	リー女史と保育事業	34
大塚正心氏		15	皇室の御仁慈	34
大塚かね子刀自		15	リー女史隠棲と永眠	35
和田秀豊氏		16	救癩史に輝く人々	36
慰癩園解散		16	14. 癩予防法胎動期	36

癲予防に関する相談会、ミス・リデル 後援会	37	安和に於ても	114
武林男三郎臀肉事件	38	ジャルマ島避難	115
山根正次氏と癲予防法案	39	26. この暴逆を座視せんや	林 文雄 116
癲予防法案の問題点	40	27. 患者救済の急務を訴う	光田 健輔 119
遠隔の離島か、都市周辺か	40	28. 林文雄博士	121
15. 癲 予 防 法	41	29. 星塚敬愛園大収容	125
法案衆議院通過	41	通れの都に入るものは誰か	井上 謙 126
法案貴族院通過	43	30. 沖縄病友収容記	塩沼英之助 136
道府県立療養所設置区域の選定	48	31. 沖縄MTL相談所設立	147
16. 開所当時の諸問題とその今昔	49	32. 日本政府10,000床計画と三井報恩会 の資金献納の快挙	150
17. 第5区九州療養所（菊池恵楓園）	52	33. 愛楽園誕生	151
略沿革	52	愛楽園開園式典を報道する当時の沖縄 の新聞記事	153
沖縄 県 政	54	開園式式次、祝辞、思い出、見学記等	154
18. 沖縄救癲の初期	55		
国立癲療養所設置反対	55		
沖縄の癲統計	59		
癲の因習と偏見及び迷信	60		
大正期の癲	60		
癲の 隔 離	61		
光田先生西表島遭難記	後沢長四郎 62		
19. ミス・ハンナ・リデルと沖縄救癲	66		
岸名信若氏沖縄派遣	66		
青木恵哉氏の沖縄伝道	68		
荒砥啄哉牧師	72		
乙部勘治牧師沖縄派遣	72		
八重山の癲	75		
春山三彦、三浦清一両牧師の沖縄派遣	83		
20. 土 地 買 収	83		
21. 嵐 山 事 件	85		
宮川 量氏	87		
沖縄の癲を見る	宮川 量 90		
22. 屋我地大堂原占拠	98		
23. 日本MTLの起原	101		
24. 沖縄MTL結成	102		
沖縄MTLの活動	103		
沖縄MTL趣意書	105		
沖縄MTLに対する本土の援助（服部 団次郎氏本土募金運動顛末記）	107		
ハワイからの援助	109		
同胞の骨を他人に拾わせるな	110		
25. 屋部の焼打事件	112		
		第2編 愛楽園開園後から現在まで	
		友川 光夫 新木 太郎	
		山田 次郎 南山 正夫	
		1. 愛楽園開所6カ年の歩み	163
		位置、名称、敷地面積、建物	163
		職 員	164
		患者収容と患者検診	165
		治療に就いて	165
		食物、貸与品及び給与品	166
		作 業	166
		慰安、娯楽	167
		宗教、教育	168
		園の経費	168
		県癲予防協会の設立	168
		愛楽園児童保育所	169
		園に注がれた皇室の御仁慈	169
		民間の援助	170
		10坪住宅運動と戦争直前の建物に就て	170
		2. 戦争と愛楽園	170
		物資の節減とその確保	170
		挺身隊の結成	171
		突撃隊の結成	171
		自治会の誕生	171
		軍部による大収容	172
		壕 構 築	172
		10月10日の大空襲	173



混 乱 期	174
3. 愛楽園の再建	175
第1次仮建築	175
第2次仮建築	175
第3次仮建築	176
恒久建築	177
4. 愛楽園の近況	178
概 況	178
職 員	178
児童保育所	178
治療に就いて	178
終戦後の患者の移動	179
公民権の附与	180
患者自治会の活動	180
食糧及び貸給与品	181
慰安、娯楽	181
職業補導と社会復帰の促進	182
教 育	182
宗 教	183
黎明期に立つハンセン氏病	183
癩に関する法令	183
米国琉球民政府及び米軍民の関心	190
戦後の救癩団体	190
本土の医療援助について	190
ハ氏病対策の画期的前進	191
伸びゆく愛と理解	193
5. 癩に関する沖縄の言い伝え、口碑、	
伝説等について	195
癩の侵入について	195
呼 称	195
発病の原因についての諸説	196
風俗、習慣	197
部落隔離ならびに患者集団所に就ての	
県の調査	197
治療について	198
結婚について	199
葬祭について	199
嘉例吉思想	199
癩に関わる表現	200
口碑伝説	200

第3編 宮古の癩と救癩…大 河 隆	
前 が き	203
1. 昔 の 癩	203
2. 因 習	204
3. 収容施設の変遷	205
隔離所時代	205
療養所設立の胎動期	206
創立と発展	207
創立以後の主要事項	208
4. 現 況	210
位置、名称、敷地、面積、建物、患者	
収容人員、職員	210
5. 救癩の灯をかかげた人々	210
国仲寛徒氏	211
仲宗根勝米氏	211
宮古司朗氏	212
家坂幸三郎氏	213
思い出話あれこれ…家坂 りう	214
第4編…上 原 信 雄	
三井報恩会理事長米山梅吉氏等の来島	
報道記事	217
沖縄救癩協会の設立を希望す	
林 文雄	218
林敬愛園長の沖縄救癩協会設立に就いて	
家坂幸三郎	220
家坂幸三郎先生…徳田 祐弼	220
園長 打 診…松田 ナミ	224
救癩活動の回顧…久場 政盛	227
沖縄救癩に関する思い出…三上 千代	228
三上千代女史…徳田 祐弼	230
家坂幸三郎先生…井藤 道子	232
西ベルリンと沖縄を結ぶ『希望と自信	
の鐘』物語…徳田 祐弼	233
雑文「1年半」…現実の癩対策に近	
道はない…湊 治郎	236
沖縄癩予防協会便り	239
財団法人沖縄らい予防協会協力者	
芳 名 簿	240